

米沢市教育委員会

教育長 土屋 宏 様

米沢市立学校適正規模・適正配置等

第六中学校区地元代表者協議会

会 長 竹 田 博 明

第六中学校の統合のあり方についての意見

令和5年2月8日付け教学第1525号で依頼のありましたことについて、第六中学校区地元代表者協議会としての意見を取りまとめました。

つきましては、令和8年度の第六中学校と第四中学校の統合に向けた準備作業を進めるにあたっては、本協議会からの意見書の趣旨をふまえながら取り組んでいただきたい。

記

1 第六中学校の統合のあり方について

- (1) 小規模校である六郷小学校の児童が大規模校となる統合中学校に進学した際に、非常に戸惑い不安を感じる子どももいると思われるので、そのような子ども達には十分な配慮をしてほしい。
- (2) 統合前の事前の交流活動において、六中に在籍しながら四中の部活動にも参加できるような形の交流についても検討してほしい。
- (3) 閉校となる学校の足跡を残し、その歴史を振り返ることができるようにしてほしい。
- (4) 通学については、一年を通して、自転車、徒歩、その他どのような形にするのか細かなところまで十分に検討してほしい。
- (5) 統合後の通学手段として、スクールバスを運行してほしい。
- (6) 統合により通学距離が現在より相当遠くなる場合があることから、自転車通学の許可を行うにあたっては、現六中だけでなく現四中の子ども達も含めて、不平等さが出ないようにしてほしい。
- (7) 統合にともなって教職員が減少しないようにしてほしい。また、六中及び四中の教職員がバランスよく統合中学校へ移動できるよう配慮してほしい。
- (8) 統合に向けて、部活動や友達関係などの様々なことについて、どの地区の子ども達もその環境に適応していかなければならないことから、どのように子どもたちを応援できるのかについて、保護者をはじめとして、地区や教育委員会も一緒に考えながら進めてほしい。

2 統合にあたってのその他意見等について

- (1) 令和8年度より前に、窪田小の5年生、6年生について、六中、四中それぞれに進学したい子ども達がいるので、小学校卒業後、選択制で六中、四中に行けるようにしてほしい。
- (2) 現在の六中学区のまま、窪田、広幡、六郷、塩井の4地区の子ども達が一緒に六中として閉校できるよう取り組んでほしい。
- (3) 六中最後の生徒になる現在の中学1年生、小学6年生、5年生の子ども達にとって、自分たちが暮らしているまち、地域、学校の歴史、六中として最後の節目の時に六中にいたという貴重な体験であると感じてもらえるように取り組んでほしい。
- (4) 統合後において、子ども達が地域の行事に参加できるよう配慮してほしい。